

できごと

イオンの森 コンサート

柏村のイオン柏ショッピングセンターで5月13日、金木小学校吹奏楽部によるコンサートが行われました。

この日は、昨年に続き2回目の演奏で「今年もたくさんの人に私たちの演奏を楽しんでもらおうとやってきました」と、4年生から6年生までの部員と応援にかけた金木中学校1年生を加えた40人で、『ミリタリー・エスコート・マーチ』を始めに軽快な曲やしっとりした曲など9曲を披露しました。

この中の『明日があるさ』では歌と踊りを入れ、集まった人と今年入部した3～4年生が、客席で手拍子を送り楽しんでいました。



嘉瀬駅に桜苗木植樹

嘉瀬小学校（校長＝對馬禮）の1年生21人が5月19日、嘉瀬駅構内に桜の苗木25本を植えました。

これは、嘉瀬で精米業を営む伊藤広志さんが子供たちの健全な育成のためにと、津軽鉄道と嘉瀬小学校の協力で行ったもので、苗木などは伊藤さんの寄付により、児童たちがスコップを抱え込み一人一本ずつ丁寧に植えていました。

伊藤さんは「今日植えた1年生が大人になって、自分の子供に伝えるのが楽しみです。今後は金木駅、川倉駅にも広めていきたい」と語っていました。

芦野公園クリーンアップ

天理教の青森教区西北第2支部（支部長＝長谷川道義）が晴天に恵まれた5月13日、芦野公園の清掃を行いました。

これは、天理教で奉仕の日「ひのきしんデー」として、活動の一環で全国一斉に行われているものです。

この日集まった参加者約100人は、2班に分かれて遊歩道周辺のゴミ拾いと花壇などの草取りを2時間余りにわたって行い、公園内をきれいにしてくれました。



ま ち の

手作り花苗寄付

5月15日、大東ヶ丘サントピアホーム（園長＝花田昭一）で、園生の実習を兼ね、芦野公園ふれあい広場の花壇に花の苗を植えました。

この日は園生12人が、作業実習中にホーム内のハウスで育てたサルビア、けいとう、マリーゴールドの3種類500本を丁寧に植え、町に寄付しました。

この色とりどりの花は、秋までの長い間咲いているので、訪れる人たちの目を楽しませてくれそうです。



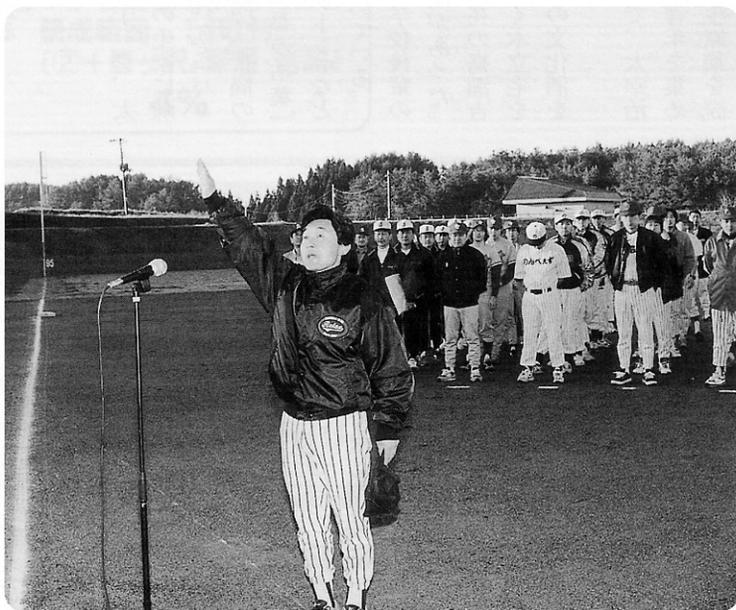
朝野球開幕

金木町朝野球協会（理事長＝藤元昭逸）主催の平成13年度朝野球選手権大会がA・B級合せて12チーム、228人が参加して、5月20日早朝、町運動公園野球場で開会式が行われました。

開会式は、前年度A級優勝のリラックス、B級優勝のMAXからそれぞれ優勝旗が返還され、協会会長の鳴海町長が「ケガのないように、好試合ができるよう頑張ってください」とあいさつし、選手を代表してリラックスの岩村弘男主将が「朝の眠さに負けず、一生懸命頑張ります」と力強く選手宣誓。

この後、抽選により朝日クラブ対のんべえずの試合が行われシーズン開幕となりました。

今年は青森県大会が当球場で開催されることから、地元出場を目指し7月末まで熱戦を繰り広げられます。



ごみゼロ運動

5月30日の「530（ごみゼロ）」にちなんで、金木町消費者協会（会長＝福山初枝）の会員10人が金木ショッピングセンターノア前で、ごみの減量化運動とクリーン・オフ・キャンペーンを行いました。

会員たちは、買物客の方たちに「ごみの減量化にご協力お願いします」と呼びかけ、チラシとティッシュペーパーを配りました。



太宰をしのぶ・その文学の魅力 38

津軽・金木・太宰……(4)

金木町太宰会々長
木下 巽

「太宰治と花」①

太宰治直筆の「花」の詩が、三十数年ぶりに金木町で発見された。その経緯については、新聞・テレビなどで詳細に報道されたので割愛する。

花を見る
花を思ふ
花を思はず
花を思はず

四行、十七文字の短い詩だが、終戦後まもなく嘉瀬村(合併前で文化活動をはじめた青年たちと、疎開中の太宰治と交流があったあかしでもある。

同人誌「灯」

故山中正津さんは、「戦後の暗い世相の中で、自称文学青年が集まって、心に『灯』をともしようということ」で同人誌『灯』を発行したのである。(かたりべ12)と述べている。

ガリ版印刷の「灯」二号から十八号まで、遺族の好意で研究委託されている。残念ながら一・三号と十一号の「花」掲載

の表紙がない。二号は、昭和二十年十二月三日発行なので、一号は、昭和二十年十一月と推定できる。

昭和二十年八月十五日の終戦日から、三ヶ月目に同人誌「灯」を発行している。嘉瀬地区青年の心意気と、文化活動への情熱を伺い知ることができる。

太宰との交流

昭和二十年七月三十一日、太宰治一家は、金木町の生家に疎開した。生家の「離れ」で『パンドラの匣』『十五年間』『苦惱の年鑑』『冬の花火』『春の枯葉』『親友交歓』『トカトントン』など世情風刺の作品を書いている。

この間、旧青森中学校後輩の本立氏五郎氏と交流があった。本立氏の旧宅は、現在の嘉瀬吉川医院。太宰治はよく本立宅を訪問し、二階で津軽の文化酒をくみ交わしたという。

本立氏の呼びかけで、太宰治が嘉瀬の文学好きの青年を集めて、東京へ送る前の生原稿を読んで聞かせている。場所は旧嘉

瀬小学校内の青年学校。飯塚貞雄氏の配慮によって校長室で、『冬の花火』が朗読された。

また、十月ころ嘉瀬観音山に「灯」の会員七、八人が集まり、スキー場の頂上で、太宰治先生を囲む集いが開かれた。「これは、雑誌社へ送る前の原稿だ。それでは読むから聞いてくれ。」と『トカトントン』を朗読。ま



た『春の枯葉』も嘉瀬まで来て朗読披露している。

りんごの花咲くころ、本立氏のりんご園に四、五人が集まり、太宰は鶏を器用に解体し、鶏鍋料理で宴会。太宰自ら「ドンドンを節」を唄って盛り上がったという。また、中柏木の原田僚さん宅にも訪問している。

「灯」の表紙に

太宰治と交流を深めた山中正津・沢田薫の両氏が、「灯」の一周年を祝うために太宰治に原稿を依頼した。後日「花」の詩が正津さんに届けられた。そして「花」一周年記念(十一号)の表紙を飾った。作家太宰治の律儀さと、嘉瀬の文学青年への優しいエールでもある。

詩をかいたのはいつか。「灯」十号は、昭和二十一年十月五日に発行。「花」表紙の十一号は、十一月二十日発行と判明した。その前後、昭和二十一年十月末ころ、今から五十六年前に書いたことは確かである。

花と太宰

「花を見る 花を思ふ 花を見ず 花を思はず」の詩を読んだら、花を否定しているかのように読み取れるが、作家としての魂と文学の本質が込められていると思う。

『めくら草紙』に「くには青森です。夾竹桃などめずらしいのです。私には、ま夏の花がいよいよです。ねむ。百日紅。葵。日まわり。夾竹桃。蓮。それから、鬼百合。夏菊。どくだみ。みんな好きです。」

【ああ、日本は佳い国だ。パンが無くなっても、酒が足りな

くなっても、花だけは、花だけは、どこの花屋さんの店頭を見ても、いっぱい、いっぱい、紅、黄、白、紫の色を競い咲き誇っているではないか。この見事さを、日本よ、世界に誇れ!』と『新郎』に描いている。

『女生徒』に、「ぼかんと花を眺めながら、人間も、本当によいところがある、と思った。花の美しさを見つけたのは、人間だし、花を愛するのでも人間だもの。」太宰治の愛した花は、壇氏の一文によると、桃の花、藤の花、薔薇、紫露草、薊だという。【私は、私の皮膚から聞いた。ほんやり物象を見つめてみると、その物象の言葉が私の肌をくすぐる。たとえば、アザミ。】(玩具)【そのときの私の眼には、隣村の森ちかくの電燈の光が薊の花に似ていたのを記憶している。】(めくら草紙)

薊の花は、紫紅色の花が咲く。ちなみに薊の花言葉は、孤独の誇り。「文学は孤独な魂からのみ生まれる(別所氏)」という。薊という言葉のイメージと優しさ、孤独の誇りに魅せられていたのだろうか? :

太宰治の生活と文学の底には、花の美しさ、可憐さ(優しさ)が絶えず流れているのである。

肝臓能障害と肝臓病

内科 佐藤 研



健診等で肝機能障害を指摘されたという方も少なくないと思います。肝臓は自覚症状が出にくい臓器であり、かなり症状が進まないと自覚症状が出ないことが多いことから肝臓害を早期に発見し、原因を特定することが大切です。

肝臓には様々な働きがあり最も大切な臓器の一つです。肝臓の主な働きとしては、栄養素を分解してたくわえる貯蔵作用、たんぱく質を合成して身体のもとをつくる代謝作用、アルコール、薬物、食物中の有毒物質を分解する解毒作用、胆汁をつくり、食物の消化を助ける消化排泄作用などがあります。したがって、肝臓害が進行した場合にそれらの働きが低下することで、様々な症状がおこってくるようになります。では、肝臓害をおこす原因となるものにはどのようなものがあり、どんな症状や特徴があるのか、一つずつ書いていこうと思います。

1 ウイルス性肝炎

肝臓病の主なものに肝炎があります。肝炎の原因で最も多いのは、ウイルス性肝炎です。肝炎ウイルスには、食べ物などで感染するA型と血液により感染するB型、C型などがあります。また、肝炎には急性肝炎、慢性肝炎があり、慢性肝炎が進行すると肝硬変といわれる状態になります。また、頻度は少ないのですが急性肝炎が急激に悪化する劇症肝炎と呼ばれる病態もあり、激しい肝炎のため死亡率も高く怖い疾患です。肝炎ウイルスの中でB型とC型は慢性化に注意が必要で、特にC型では、肝機能異常がはっきり出現しない例も合わせると約八〇%で慢性化するとも言われており、さらに十五年から二十年の間にC型慢性肝炎の二五〜三〇%で肝硬変に移行したという報告があります。肝硬変になると肝機能の低下の

ため、疲れやすいなどの症状が出るほか、肝硬変が進行することで黄疸、下肢のむくみ、食道静脈瘤といった病態が出現し、重症となる場合があります。その他肝臓の発生の危険も高くなります。したがって、慢性肝炎、肝硬変とも定期的な採血、超音波検査、場合によっては、胃カメラ、CTなどの検査が必要となります。慢性肝炎で六カ月に一回、肝硬変では三カ月に一回の定期検査は必要と思います。症状が出る前に治療を開始することで、病気の進行を防ぐことが大切なのです。また症例によっては、慢性肝炎のうち肝炎ウイルスそのものを排除して治療するインターフェロンという治療が有効な場合があります。

2 アルコール性肝障害

近年、アルコール消費量の増加とともにアルコールによる肝障害も増加しています。

高脂血症や糖尿病肥満との関係もありますが、アルコール常用者は脂肪肝になりやすく、さらに飲酒をつづけることで肝炎をおこすことがあります。それでも飲酒をつづけた場合、肝炎ウイルスがなくても肝硬変まで進行し、ウイルス性肝硬変と同じような状態となります。日本酒にして一日五合で十〜十五年飲みつづけた場合に高い割合で発症するというデータがあります。最も有効な治療は、断酒です。脂肪肝、肝炎の段階でアルコール摂取をおさえることのでかなりの改善が望めます。身体のためには飲みすぎには注意が必要で、逆には飲みなれない人が一気に飲んだ時の急性アルコール性肝炎では、亡くなった方もおり注意が必要です。また、酒に酔わないからといって肝臓が強いというわけではなく、逆に酒に強い人の方が多くのお酒が体に入ることから肝障害をおこすことが多いのです。

3 その他の肝障害

その他に肝障害をきたす場合としては、薬による薬剤性肝障害、自己免疫性肝炎、肝

炎ウイルス以外のウイルス性肝炎SLEなどの膠原病に伴った肝炎など様々な疾患があります。原因の特定には、診察の他、様々な採血画像診断等が必要となります。

4 肝疾患と日常生活

脂肪肝の原因には、アルコール性、高脂血症、糖尿病などがあることは述べましたが、治療にあたっては、アルコールの過剰摂取をひかえる他脂肪の少ない魚や鶏肉などの良質なタンパクを多くとること、脂肪を制限し、糖分、炭水化物、タンパク質をバランスよくとることが必要です。標準体重を大きく上回る方は食事摂取量全体のカロリー制限が必要で、また、適度な運動（散歩などの軽い運動がある程度）の時間、毎日続けることが大切です。次に肝炎では急性期に十分な栄養、安静が必要であり、また肝硬変で食事制限や、ある程度の安静（特に食後の安静）などが必要となる場合があります。

肝疾患は症状が出にくい疾患です。健診、定期検査を生かして、早期発見、早期治療にこころがけましょう。

戸籍の窓

五月届出分

おめでとごう

葛西 克俊 (久藏) 木造町
田中 智巳 (雅彦) 中柏木
山中 孝幸 (一輝) 嘉瀬
原 三麗 (隆一) 長野県

おくやみ

成田 岬 (幸司) 中柏木
古川 瑛悠 (博基) 金木
山口 真優加 (勝治) 金木
秋元 歩 (克文) 蒔田
白川利佳子 (由徳) 嘉瀬

角田 善男 (76才) 金木
山中 正津 (75才) 嘉瀬
新岡 キミエ (64才) 喜良市
竹谷 幾代 (67才) 喜良市
白川 勝衛 (63才) 金木
中村 本真 (86才) 喜良市
原田 イソ (91才) 中柏木
津島 教治 (54才) 金木

おしあわせに

山口真優加ちゃん (5月10日生)



仲良くあくしゅしちやた。これから
もよろしくね♡ (兄 裕也より)

はじめまして

この欄は金木町
に住所を有してい
る方々を掲載して
います。
掲載を希望しな
い方は町民課窓口
に届出の際申し出
てください。

人口と世帯	5月末現在		前年同月比	
	男	5,701人	△	54人
女	6,279人	△	50人	
計	11,980人	△	104人	
世帯数	4,061		0	

伝言板

◎届いています

●五月十二日
鍵三個(鈴付)

●五月二十八日
小林家具店前路上

●五月二十八日
バツチ(ドラエモン)

●五月二十八日
芦野公園内

●六月四日
ジャンパー(グレー)

●六月四日
中柏木鎧石路上

●六月八日
財布(茶色、二つ折り)

●六月八日
金木タウンセンター

●六月八日
ノア秋元衣料店内

●六月八日
心当たりの方は金木警

●六月八日
察署落し物係まで

●五月二十八日
帽子(紺色、Papp)

●五月二十八日
町運動公園内

●五月二十八日
心当たりの方は、役場

●五月二十八日
総務課まで

◎係から

このコーナーを利用し

たい方は企画観光課まで。

お詫びと訂正

広報かなぎ五月号に誤り

がありましたので訂正して

お詫び申し上げます。

▼十ページ

「おめでとごう」はじめま

して「欄の山中悠夢ちゃん

悠夢となっていました。

町内交通危険箇所検証 6/6

- 場所 奴温泉入口付近
- 道路図



●交通状況
嘉瀬バイパス(国道339号)は道幅が広いためスピードが出やすく交通量も多いが、奴温泉入口付近は夕方から温泉利用客の出入りが多くなるため、大変危険です。

●検証
上の図の通り、金木方面から来た場合、温泉の入口手前で緩やかなカーブになっており、温泉入口付近は建物の影になっているため見通しが悪い。また、温泉から出てくる車は、左右の視界が悪く、突然出てくるのが考えられるため、嘉瀬バイパスを通行する車はスピードを控えめに走行してください。

金木町交通安全対策協議会

HAPPY Wedding



2001.5.4

新郎 澤田 兆さん(嘉瀬)

新婦 中谷 貴子さん(金木)



2001.5.19

新郎 津島 宗治さん(金木)

新婦 片山 鮎美さん(稲垣村)

かなぎ公民館ブライダル情報

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行)事務局「金木町中央公民館」によりカップルとなられた方々をご紹介します。

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎五三二三五八一)にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典があります。